

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)【児童発達支援(通園)】

公表:2023(令和5)2月28日

アンケート期間 : 2023(令和5)年1月17日~2月6日

事業所名 小金井市児童発達支援センターきらり

保護者(児童)数 21

回収数 15

回収率 71%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88.9	11.1	0.0	0.0	・狭いところもありますが、建物の構造上仕方ないのかと	・保育室だけでなく、ホールや廊下、園庭等を活用し、様々な活動が行えるよう工夫していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	94.4	5.6	0.0	0.0		・研修等を充実させ、専門性の向上に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100.0	0.0	0.0	0.0	・とてもすばらしいと思います。写真や絵でわかりやすく伝達してくれています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	94.4	5.6	0.0	0.0	・参観などについてもいつも清潔にされている様子がよくわかります ・アルコール消毒のし過ぎが気になる	・アルコール消毒はコロナ禍での保健所の助言により実施してまいりました。今後は感染状況等を見極めて対応していきます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100.0	0.0	0.0	0.0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100.0	0.0	0.0	0.0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	94.4	0.0	0.0	5.6		・支援計画について取り組みに内容をより丁寧に行うよう努めます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	83.3	0.0	0.0	16.7		・活動プログラムの理解につながるよう、繰り返して積み重ねる部分と、新たな活動を取り入れ経験の幅を広げる部分をバランスよく設定していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	33.3	27.8	11.1	27.8	・コロナの為、以前より行っていた交流が中止となっているため ・コロナ禍の為、仕方ないです ・コロナの流行に左右されるのは仕方ないと思います ・コロナの影響もあり、行われていません ・コロナだからなのかかわからないが今のところない ・コロナの流行により、なかなか難しいのかなと思います ・コロナでもあるのでむずかしいと思う。障がいのない子供と活動する利点がありません ・コロナにより実現は難しかったですが、本来は予定していただかっていました。	・コロナによりこの3年間実施しておりません。今年度は計画しましたが感染拡大の時期と重なり中止しました。保育園と話し合い、再開に向け検討していきます。

10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	88.9	5.6	0.0	5.6		・運営規程は玄関内に関する閲覧用ファイルを設置しております。重要な事項は「重要事項説明書」にてご説明しております。
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100.0	0.0	0.0	0.0		
12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	55.6	16.7	0.0	27.8	・すみません、わからないです ・通所している未就学児向けは少ないかと。父親むけのものをやってほしい	・家族支援プログラムという名称は使っておりませんが、通園の保護者学習会、きりり全体での市民向け講演会などを企画・実施しております。引き続き実施予定です。
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100.0	0.0	0.0	0.0	・こまめに連絡していただき子供の様子がわかり心強いです。どういう目的がありそれをやるのかということをきちんと説明していただきます	
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100.0	0.0	0.0	0.0	・トイレなど家庭に踏み込んでアドバイスをくれたりします！	
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	83.3	16.7	0.0	5.6	・たけのこ会の運営も順調です ・父母会の支援は特にはないです。保護者会もあります ・連携の支援はないです ・保護者同士の連携の必要性を感じず、むしろストレスに感じることがあります。 ・されている面はもちろんありますが、新入園された方への連絡・説明などもう少しだけ助けて頂けるとありがたいです。	・クラス保護者会を実施しています。 ・コロナ禍により行事を保護者参加をなくしたり、全体でなくクラス毎にするなど、保護者同士が一緒になる機会が減っていました。少しずつ、保護者同士が顔を合わせる機会をコロナ禍前と同様にしていきたいと考えています。 ・たけのこ会の保護者同士の連絡に協力していきます。
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	94.4	0.0	0.0	5.6		・定期的な面談以外にも、ご希望に応じて面談を行っている旨を周知いたします。
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100.0	0.0	0.0	0.0	・サービス提供記録が毎日詳しく書かれていたり、こまめにお電話頂いたり…助かります！	
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	66.7	16.7	0.0	16.7		・毎月のおたより、ほけんだより等で情報をお伝えしています。 ・第三者評価結果の全体の講評は配布し全体は福ナビにてご覧いただけます。 ・自己評価結果は、ホームページ及び玄関内の閲覧用ファイルで公表しています。

	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	94.4	0.0	0.0	5.6	・注意されすぎている。園での活動の写真を個人データで購入できるように欲しい	・きらりで撮影した写真は季節ごとにまとめてお渡ししております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	83.3	5.6	0.0	11.1	・マニュアルあるんでしょうけど親は知りません。訓練もわかりません。	・避難訓練は月1回のペースで実施しています。 ・災害伝言ダイヤル171の訓練も定期的実施しています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	88.9	5.6	0.0	5.6		・緊急時の対応等はお知らせをして配布しております。今後マニュアルの周知をいたします。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	88.9	11.1	0.0	0.0	・毎日とても楽しそうに色々と話してくれるようになった。先生方とのお話を聞くのが楽しいです	・楽しく通園できるよう、課題内容をさらに工夫していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	94.4	0.0	5.6	0.0	・大変満足しています。 ・支援は素晴らしいです。写真を撮る機会を増やして欲しいです。紙が多いので、データや保育園のアプリなど手間を少なくしてほしいです。 ・支援の内容には大変満足しておりますが、延長などの時間・幅を広げて頂けると助かります ・どの先生もお優しく、沢山声をかけてくださり手厚い保育に感謝しています ・とても手厚くサポートしていただき、感謝しています	・紙でのお知らせとなっておりますが、わかりやすくお読みいただくことができますよう、配慮してまいります。 ・延長は支援の準備等の関係から限られた範囲とさせていただきます。 保護者の皆様のご協力をいただきながら、お子様への支援を充実させていくよう努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

☆端数処理・無回答などにより、合計が100%にならない項目があります。

事業所における自己評価結果(公表)【児童発達支援(通園)】

討議年月日: 2023(令和5)年2月28日

公表: 2023(令和5)年2月28日

事業所名 小金井市児童発達支援センターきらり

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋によっては狭い。物の置き場所に工夫している。 ・個別学習を行う適切なスペースがない。特に夏場や冬場は暑さ・寒さへの対応が困難である。L子どもの特性を考慮した専用のスペースももつことが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準以上の広さは確保できているが、支援を実施する上では広さや数が不足している。廊下やホールも活用し、衝立を使用するなどの対策にならざるを得ない現状がある。
	2 職員の配置数は適切である	100%			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化や不具合に関しては、市と相談して適切に対応する。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	83.3%	16.7%		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、行事におけるアンケートを実施し、第三者評価を受審する。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き第三者評価を受審する
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・研修の資料など回覧し情報を共有している。また、希望者が研修を受けやすいように業務をフォローし合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、必須研修や自らが選んで学ぶ研修を充実させていく。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・会議を設定している。 	

適切な支援の提供

11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%		・個別学習を行う前にアセスメントツールを使って評価している。有効に使い児理解等に役立てられると良い。	・引き続き標準化の有無に関わらず、子どもの状況を把握し、具体的な支援の参考になるようなツールを活用していく。
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%			
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%			
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		・クラスで担任間で認識の差がある場合には、話し合い認識を統一する必要があった。	・職員間で様々な意見を出し合い、話し合って考えていく姿勢を維持していく。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		・継続して行うこと、新しいことをバランスよく取り入れるように気を配っている。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%		子どもの様子に応じて小人数での活動やグループ分けした活動等を取り入れている。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		・毎年、打合せを行い、クラス全体で流れ、支援のねらいなどを確認している。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		・同様(上記)にその日のふり返りを行い、特記など気づきを共有している。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			・記録の取り方について、よりよい支援につながるよう、工夫・改善をする。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%			
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%			
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%		・必要に応じて連携し情報共有している。	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当しない	
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当しない	

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		・引継ぎとして転園先と面談を行い、支援内容の情報を共有している。転園後にアフターフォローで園を訪問して様子を把握し、園や保護者と情報共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		・卒園後、アフターフォローで特別支援学校を訪問し、授業の様子を見学した。保護者とも情報共有している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	85.7%	14.3%	・他市の児童発達支援センターの研修や見学会に参加した。 ・機会があれば研修に参加している。	・他機関の見学機会を増やす。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	83.3%	16.7%	・隣接する保育園との交流はコロナ禍により中断中。 ・隣接する保育園との年中・年長児の交流行事の計画会議を参画した。 ・感染対策を十分にとった上で何かの形でともに活動する機会ができると良い。	・保育園と交流についての会議を行い、公園遊びを予定していたが、新型コロナの感染再拡大により中止した。保育園と話し合い、感染状況を見ながら次年度以降の取り組みを進めていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	83.3%	16.7%	・様子が伝わってこないのが分からない。	・自立支援協議会には施設長が参画している。職員への情報提供を行う。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		・日々の話をして、共通理解を持つようとしている。 ・毎日の連絡帳の活用、それ以外にも電話、場合によっては面談を行い保護者と情報を共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%		・保護者学習会の案内をした。 ・希望者に行っている。	
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		・連絡帳の記述や言動から心配な様子を感じた時など電話をするなどフォローを入れている。保護者からの悩み、相談にも迅速に対応する。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	66.7%	16.7%	・保護者会、親子遠足(コロナで見合わせていたが毎年行っていた)、交流会など感染症対策をしたうえで行っている。	・この3年間、コロナ禍により行事をクラス毎にするなど、保護者が顔を合わせる機会が減っていたが、少しずつ増やしていきたい。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%				

等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		・おたよりなど毎月発信している。行事はその都度お知らせで発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意して	100%		・規程に沿って配慮している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	66.7%	33.3%		・市民を対象とした講演会は引き続き実施する。 ・地域の資源(お店等)を活用した活動を積極的に取り入れていく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	66.6%	33.3%	・随時行っている。 ・災害時のマニュアルなど保護者に周知している ・保護者への周知が不十分なため、これから行う。	・内容によっては保護者への周知が不足している。わかりやすい形でお知らせする。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		・毎年行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%		・保護者との投薬依頼書、預り薬リスト作成など、情報を明確にして保管している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		・研修に参加する場を作っている。	・マンネリ化した研修とならないよう、毎年工夫しながら自らの支援を見直す機会を作る。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%		・現在このような場面がないが、必要があれば適切な手続きをふみ行うと思われる。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。未回答などにより、100%にならない場合があります。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)【放課後等デイサービス】

公表:2023(令和5)2月28日

アンケート期間:2023(令和5)年1月17日~2月6日

事業所名 小金井市児童発達支援センター きらり

利用50名(回答19名)

回収率38%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100.0%					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	84.2%	10.5%		5.3%	・少ないと感じる	・配置基準は満たしていますが、より多くの職員を配置する検討や他事業との協力体制を強化していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100.0%					
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	100.0%					
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	94.7%			5.3%		・職員間で話し合い、安定的に参加できるプログラムと新たな経験につながるプログラムをバランスよく設定するよう工夫していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5.3%	26.3%	26.3%	42.1%	・必要性を感じません ・コロナ禍ということもあるかと	・現在のところ、きらりの中での関わりを中心に考えており、設定する予定はありません。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100.0%					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100.0%					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5.2%	31.6%	31.6%	31.6%	・保護者交流会のようなものがあるとうれしいかもです！	・現在、保護者が参加する会は特に設定していません。内容や目的などを検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	68.4%			31.6%		・事業所、法人として体制を整えています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100.0%					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	78.9%	5.3%		15.8%	・おたよりで充分かとは思いますが、活動の様子をムービーや写真(業者さん)で見られたりしたらもっとうれしいです	・お便りでのお知らせが中心となっています。行事等では、様子をより分かりやすくお伝えできるよう工夫していきます。
	14 個人情報に十分注意しているか	100.0%					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	94.7%			5.3%		・緊急時の対応等はお知らせをして配布しております。今後マニュアルの周知をいたします。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100.0%					

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	78.9%	21.1%		<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく通っています。同じような特性のある子が多いので親子で気兼ねしすぎることなく通わせることができ助かっています 	<ul style="list-style-type: none"> ・人のやりとりの機会を広げ、様々な経験につながるよう、活動内容をさらに工夫していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	94.7%	5.3%		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の事で色々相談にのっていただき心強かったです。子供の特性にも正しく対処していただきいつもありがとうございます 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の皆様のご協力をいただきながら、お子様への支援を充実させていくよう努めてまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)【放課後等デイサービス】

討議年月日: 2023(令和5)年2月28日

公表: 2023(令和5)年2月28日

事業所名 小金井市児童発達支援センター きらり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	66.6%	33.4%	ホールを半分にして使えと良い(レール式パーテーション等で)。広すぎることもある。	・空間を仕切る方法を検討する。
	2	職員の配置数は適切である		100.0%		・配置基準は満たしている。より多くの職員を配置する検討や他事業との協力体制を強化する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	33.4%	66.6%		・段差は少なく設置されている。トイレの設備は十分とは言えないが、改築等は難しい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100.0%			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100.0%			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100.0%			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100.0%			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	66.6%	33.4%		・職員間で話し合い、安定的に参加できるプログラムと新たな経験につながるプログラムをバランスよく設定するよう工夫をしていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	33.4%	66.6%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	66.6%	33.4%	・個別活動として1対1の確保は難しい	・集団活動の中で、必要な場合には個別に対応する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%			

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%		・そうじの時間が多めになっている。	・コロナ禍により、清掃に加えて消毒を行っている。消毒については感染拡大状況に応じて見直していく予定である。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	66.6%	33.4%	・記録をとっているが、徹底・検証が不足している。	簡潔でありながら支援に生かせる記録となるよう、職員間で記録の仕方について確認する。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	66.6%	33.4%		日々の振り返りで関わりのポイントを職員間で確認し、見直しに生かしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	100.0%				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	66.6%	33.4%		・事業所内の相談支援事業所を利用されている場合が多い。相談支援担当者と情報を共有したり、必要に応じて相談・面談に同席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	66.6%	33.4%		・保護者送迎のため、利用に関する連絡機会は少ない。必要に応じて連絡を行う。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当なし		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	33.4%	66.6%	・きらりの利用に関する過去の記録は把握している。	・必要な場合には情報共有を行う。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	33.4%	66.6%	・小学生を対象としているため、放課後等デイサービス利用後は学齢期が続いている。	・利用後の生活のため関係機関との情報共有が必要な場合には引継ぎを行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	66.6%	33.4%		・発達に関する関係機関の他、子どもに関する期間について必要に応じて連携している、	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		100.0%		・特に設定していない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100.0%		・センター長が参加している		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100.0%				
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		100.0%		・保護者が参加する会は特に設定していない。自由な雰囲気であれば参加しやすいかもしれない。	

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%			
	35	個人情報に十分注意している	100.0%			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	66.6%	33.4%		<ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象とした講演会は引き続き実施する。 ・地域の資(お店等)を活用した活動を積極的に取り入れていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100.0%			<ul style="list-style-type: none"> ・内容によっては保護者への周知が不足している。わかりやすい形でお知らせする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	66.6%	34.4%		<ul style="list-style-type: none"> ・身体的に接触するかかわりについて、職員間で十分話し合い、きりりとしての判断を整理する必要がある。 ・身体拘束に関する職員研修は実施している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100.0%			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%			

☆端数処理により、合計が100%にならない項目があります。